10. 付録

同梱の CD-ROM や、その他の注意事項等についての説明です。

CD-ROM 収録ソフトウェア

ここでは、本機に同梱されている CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」について説明しています。

ファイル一覧

CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」に入っているファイルの一覧です。

ファイル名	参照
SETUP.EXE	P.16 「おすすめインストール」
Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 用 RPCS プリンタードライバー	P.282 「RPCS プリンタードライバー」
Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 用 PCL6 プリンタードライバー	P.282 「PCL プリンタードライバー」
Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 用 RP-GL/2 プリンタードライバー	P.283 「RP-GL/2 プリンタードライバー」
Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 用 PS3 プリンタードライバー	P.283 「PS3 プリンタードライバー」
Ridoc IO Admin	P.284 「Ridoc IO Admin」
Ridoc Desk Navigator Lt	P.284 「Ridoc Desk Navigator Lt」
True Type World Windows 版	P.286 「TrueTypeWorld」
各種マニュアル	P.289 「各種マニュアル」

ドライバー（RPCS）

Windows から印刷するために必要なソフトウェアです。RPCS が入っています。

RPCS プリンタードライバー

RPCS プリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境についての説明です。

♦ ファイル格納場所
同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。
DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA

♦ プリンタードライバーの動作環境

- パソコン
  対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機、NEC PC-9821 シリーズ
- 対象 OS
  Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 日本語版
- ディスプレイ解像度
  SVGA 800 × 600 ドット以上

補足

- 詳しい使い方については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

参照

- P.16 「おすすめインストール」

ドライバー（PCL）

Windows から印刷するために必要なソフトウェアです。PCL が入っています。

PCL プリンタードライバー

PCL プリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境についての説明です。

♦ ファイル格納場所
同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。
DRIVERS¥PCL6¥XP_VISTA

♦ プリンタードライバーの動作環境
動作環境についての詳細は、『PCL』使用説明書を参照してください。

重要

- PCL ドライバーを使用して印刷するには、PCL カードが必要です。

補足

- 詳しい使い方については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ドライバー（RP-GL/2）

Windows から印刷するために必要なソフトウェアです。RP-GL/2 が入っています。

重要

・RP-GL/2 ドライバーを使用して印刷するには、マルチエミュレーションカードが必要です。

RP-GL/2 プリンタードライバー

RP-GL/2 プリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境についての説明です。

♦ **ファイル格納場所**

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。
DRIVERS¥RPGL2¥XP_VISTA

♦ **プリンタードライバーの動作環境**

動作環境についての詳細は、『RP-GL/2』使用説明書を参照してください。

補足

・詳しい使い方については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ドライバー（PS3）

Windows から印刷するために必要なソフトウェアです。PS3 が入っています。

重要

・PS3 ドライバーを使用して印刷するには、PS3 カードが必要です。

PS3 プリンタードライバー

PS3 プリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境についての説明です。

♦ **ファイル格納場所**

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。
DRIVERS¥PS¥XP_VISTA

♦ **プリンタードライバーの動作環境**

動作環境についての詳細は、『PostScript 3』使用説明書を参照してください。

Ridoc IO Admin

Ridoc IO Admin の機能とファイル格納場所の説明です。
Ridoc IO Admin は TCP/IP プロトコルを使ってネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。IP アドレスを持つ複数のネットワークプリンターの管理が可能です。ネットワーク管理者の方がお使いになることをお勧めします。

◆ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。
`NETWORK¥RIDOCIO¥ADMIN`

参照

・P.172 「Ridoc IO Admin を使う」

Ridoc Desk Navigator Lt

Ridoc Desk Navigator Lt は、アプリケーションソフトで作成したファイルや既存のイメージファイルなど、多様なデータを 1 つの文書として管理・印刷することができます。
Ridoc Desk Navigator Lt のインストールと同時に Job Binder 機能もインストールされます。Job Binder 機能では、複数のアプリケーションで作成したファイルや Ridoc Desk Navigator Lt 文書を、Ridoc Desk Navigator Lt の JobBinder フォルダに保存しておき、1 つの文書として印刷したり、プレビュー機能で仕上がり状態を確認しながら保存した印刷データを後でステープル、両面などの指示をかけて印刷することができます。また、印刷する順番を後で変更することもできます。

◆ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。
`UTILITY¥RIDOCDSK`

◆ Ridoc Desk Navigator Lt の動作環境

- パソコン
  対象 OS が問題なく動作する PC/AT 互換機
- 対象 OS
  Windows 2000/XP/Vista 日本語版
  Windows Server 2003/2003 R2 日本語版
- ディスプレイ解像度
  SVGA 800×600 ドット以上

補足

- NEC PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC98-NX シリーズでは動作しません。
- Ridoc Desk 2000 Lt の使い方については、ヘルプを参照してください。
- Ridoc Desk Navigator Lt には Ridoc IO Navi も含まれています。Ridoc IO Navi について詳しくは、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi

Ridoc IO Navi は以下のような機能を備えたソフトウェアです。Ridoc Desk Navigator Lt をインストールする際に、同時にインストールされます。

- Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 から TCP/IP プロトコル、IPP を使用して、Peer-to-Peer ネットワークで印刷する機能を提供します。
- TCP/IP プロトコルを使用してネットワークにある機器の状態を常に監視できる機能を提供します。

♦ どんなことができるのか？

Ridoc IO Navi では以下の操作ができます。

- Peer-to-Peer プリント機能
  - プリントサーバが無くても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
  - 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
  - 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
  - 並行 / 代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 機器監視機能
  - 印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
  - 複数台の機器を使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
  - 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
  - ユーザー ID を使ったジョブの履歴を確認できます。
- 印刷が完了したときに、［印刷通知］ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。
- 自分が印刷した文書の履歴、印刷中のジョブ状態を一覧で確認できます。
- 印刷ページを、「プレビュー表示」と「ページ一覧表示」の 2 種類の方法で表示することができます。

補足

- 代行印刷 / 並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターのオプション構成を一致させてください。印刷に必要なオプション（例えばオプションの給紙テーブルなど）が代行プリンターに装着されていない場合、オプションを使用する機能は無効になります。
- 代行印刷 / 並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターの機種や装備が違う場合、印刷結果が同じにならないことがあります。
- 試し印刷や機密印刷をする場合、代行印刷 / 並行印刷はできません。
- Ridoc IO Navi の使いかたについては、同梱の製品マニュアルとヘルプを参照してください。

TrueTypeWorld

TrueTypeWorld のファイル格納場所と書体見本についての説明です。

♦ **ファイル格納場所**

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

FONTS¥WIN95NT

♦ **書体見本**

以下の TrueType フォント 20 書体が収録されています。

羽衣 L
愛の広がる美しいフォント

羽衣 E
愛の広がる美しいフォント

高橋隷書体
愛の広がる美しいフォント

江戸文字勘亭流
愛の広がる美しいフォント

行刻
愛の広がる美しいフォント

半古印体
愛の広がる美しいフォント

行書体
愛の広がる美しいフォント

祥南行書体
愛の広がる美しいフォント

正楷書体
愛の広がる美しいフォント

創英角ポップ体
愛の広がる美しいフォント

創英丸ポップ体
愛の広がる美しいフォント

白洲ペン楷書体
愛の広がる美しいフォント

白洲行草書体
愛の広がる美しいフォント

白洲太楷書体
愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W3
愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W9
愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W4
愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W8
愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W3
愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W9
愛の広がる美しいフォント

各書体のフォント名、字母メーカーは以下のとおりです。

フォント名	書体名	字母メーカー名
HG ～（注）	羽衣 L	株式会社大谷デザイン研究所
HG ～（注）	羽衣 E	株式会社大谷デザイン研究所
HG ～（注）	高橋隷書体	株式会社ブリッジ
HG ～ &HGP ～& HGS ～	江戸文字勘亭流	株式会社晃文堂
HG ～ &HGP ～& HGS ～	行刻	株式会社シイアンドジィ
HG ～ &HGP ～& HGS ～	半古印体	株式会社シイアンドジィ
HG ～ &HGP ～& HGS ～	行書体	株式会社リコー

フォント名	書体名	字母メーカー名
HG ～ &HGP ～& HGS ～	祥南行書体	有澤祥南
HG ～ &HGP ～& HGS ～	正楷書体	日本活字工業株式会社
HG ～ &HGP ～& HGS ～	創英角ポップ体	株式会社創英企画
HG ～ &HGP ～& HGS ～	創英丸ポップ体	株式会社創英企画
HG ～ &HGP ～& HGS ～	白洲ペン楷書体	日本書技研究所
HG ～ &HGP ～& HGS ～	白洲行草書体	日本書技研究所
HG ～ &HGP ～& HGS ～	白洲太楷書体	日本書技研究所
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成角ゴシック体 TM W3	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成角ゴシック体 TM W9	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成丸ゴシック体 TM W4	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成丸ゴシック体 TM W8	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成明朝体 W3	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成明朝体 W9	（財）日本規格協会

※フォント名の『～』の個所には書体名が入ります。『HG～』のみの場合は和文プロポーショナルに対応していません。
（注）Windows3.1 のフォーマットで収録しています。

基本仕様

True Type World の基本仕様に関する説明です。

♦ 文字について

7,602 文字（MS 標準キャラクタセットに準拠、JIS 漢字第一水準、第二水準を含む）
フォーマット /Windows 95 日本語版準拠の TrueType Collection 形式（拡張子 : ttc）

補足

- Windows 95 以降で和文プロポーショナルフォントを使用できるようになります。
- フォントファイルに組み込まれたフォント情報によって書体表示名が異なります。

「HGP ～」	半角文字・非漢字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HGS ～」	半角文字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HG ～」	固定ピッチ情報のみ格納

- 和文プロポーショナル機能を使用するには、TrueType Collection に対応しているアプリケーションが必要です。
- 平成書体は、（財）日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。他のフォントと同様、フォントとして無断複製することは禁止されています。

♦ 対象 OS

TrueType フォントの対象 OS は、下記の通りです。

- Windows 2000/XP/Vista 日本語版
- Windows Server 2003/2003 R2 日本語版

10

Windows へのインストール

True Type World の Windows へのインストール方法の説明です。
ここでは、操作例として 95/98/Me へのインストール方法を説明しています。

重要

- ご使用の際には、同梱されている CD-ROM 内の Font ディレクトリにある Readme の使用許諾を参照してください。
- すでに Windows 3.1 版の TrueTypeWorld がインストールされているパソコンには、同梱の CD-ROM 内の TrueTypeWorld をインストールしないでください。
- インストールされているフォント数が多いとシステムが不安定になる恐れがあります。
- リモートドライブ（ネットワーク上のドライブ）にインストールしないでください。アプリケーションからフォントを選択するときに他のフォントが見えなくなるなどの障害が発生する恐れがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［コントロールパネル］の［フォント］をダブルクリックします。

3 ［ファイル］メニューの［新しいフォントのインストール］をクリックします。

4 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

5 [ドライブ]ボックスのドロップダウンメニューからCD-ROMドライブを選択します。

6 ［フォルダ］ボックスで、［fonts］から［win95nt］の順にフォルダを開きます。

7 ［フォントの一覧］ボックスにフォント名が表示されるので、インストールするフォントをクリックして反転表示させます。

8 ［フォントフォルダにフォントをコピーする］にチェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

これでインストールは終了です。

補足

- Windows をインストールしたハードディスクに、1 書体当たり約 2 ～ 7MB（書体によって異なります）の空き容量が必要です。
- インストール後、フォント名は 3 つの書体名「HG ～」、「HGP ～」、「HGS ～」で表示されます。たとえば「行書体」の場合、［コントロールパネル］の［フォント］フォルダの中では、フォント名が「HG 行書体＆ HGP 行書体＆ HGS 行書体」と表示されます。
- その他の OS へのインストール方法については、OS に同梱の説明書を参照してください。

10

各種マニュアル

付属の CD-ROM には、HTML 形式と PDF 形式の使用説明書が収録されています。
各種マニュアルのファイル格納場所についての説明です。

HTML 形式の使用説明書

♦ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。
MANUAL_HTML

PDF 形式の使用説明書

♦ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。
MANUAL_PDF

Windows からのファイル直接印刷

Windows でコマンドを使用したファイル直接印刷の方法についての説明です。

重要

- この方法で印刷できるファイルは、本機が搭載しているエミュレーション用に作られたファイルです。エミュレーション用に作られたファイルとは、たとえば PostScript 3 用のポストスクリプトファイルなどです。
- 搭載していないエミュレーションのファイルは印刷できません。

lpr、rcp、ftp コマンドを使って印刷できます。

補足

- sftp コマンドを使用する場合は、ssh v2 に準拠したクライアントソフトが必要です。

セットアップ

Windows からファイル直接印刷するための、環境設定の方法の説明です。

1 本機の操作部でTCP/IPプロトコルを有効にし、IPアドレスなどTCP/IPに関するネットワーク環境を設定します。

本機の TCP/IP プロトコルは、工場出荷時は有効に設定されています。

2 WindowsにTCP/IPプロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。

ネットワークに関する設定内容はネットワーク管理者の方に確認してください。

3 lpr を使って印刷する場合は、ネットワークソフトウェアとして「UNIX 用印刷サービス」を組み込みます。

補足

- IP アドレスの設定方法について詳しくは、本機に同梱の使用説明書を参照してください。
- DHCP を使用して本機の IP アドレスを設定するときは、「DHCP を使用する」を参照してください。
- 本機の指定にホスト名を使用するときは、「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

参照

- P.297 「DHCP を使用する」
- P.291 「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」

10

IP アドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IP アドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定することができます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

DNS を使用している場合

DNS サーバ上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

DHCP を使用してプリンターの IPv4 アドレスを設定している場合

システム設定リストの「プリンター名」に印刷された名前をホスト名として使用します。

参照

・P.133 「テスト印刷をする」

その他の場合

印刷を行うコンピュータの hosts ファイルに、ネットワークプリンターの IP アドレスとホスト名を追加します。追加のしかたは OS により異なります。

1 メモ帳などで hosts ファイルを開きます。

hosts ファイルは以下の場所にあります。

```
¥WINNT¥SYSTEM32¥DRIVERS¥ETC¥HOSTS
```

¥WINNT はインストール先のディレクトリです。

2 hostsファイルにIPv4とIPv6のアドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

IPv4 の場合

```
192.168.15.16  ricoh  # NP
```

192.168.15.16 は IPv4 アドレス、ricoh はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

IPv6 の場合

```
2001:DB::100  ricoh  #  NP
```

2001:DB::100 は IPv6 アドレス、ricoh はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

3 ファイルを上書き保存します。

補足

・IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003 R2 でホスト名をご使用の場合は、外部の DNS サーバでホスト名の解決を行ってください。hosts ファイルはご使用になれません。

・IPv6 対応の OS は、Windows XP SP2 と Windows Server 2003/2003 R2、および Windows Vista です。

10

印刷方法

lpr、rcp、ftp コマンドを使った印刷方法の説明です。
コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。各 Windows でのコマンドプロンプトの場所は次のとおりです。

♦ **Windows 2000 の場合：**
［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］

♦ **Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 の場合：**
［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］

補足

- 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- 「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。各コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。
  - lpr：10
  - rcp：5
  - ftp：3
- ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。
- コマンドの中で指定する「オプション」はプリンター固有のオプションで、内容は UNIX を使ってオプションを指定する場合と同様です。UNIX を使ってオプションを指定する方法は、「オプション指定（UNIX）」を参照してください。
- エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

参照

- P.271 「オプション指定（UNIX）」

10

lpr

♦ **IP アドレスを使ってプリンターを指定する場合**
`c:> lpr -Sプリンターの IPアドレス ［-Pオプション］［-ol］ ¥パス名¥ファイル名`

♦ **IP アドレスの代わりにホスト名を使用する場合**
`c:> lpr -S プリンターのホスト名 ［-P オプション］［-ol］ ¥パス名¥ファイル名`
バイナリーファイルを印刷する場合は -ol（小文字の O と、小文字の L）オプションを付けてください。

ホスト名が ricoh のプリンターに、C:¥PRINT ディレクトリにある、名前が file1 の PostScript ファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> lpr -Sricoh -Pfiletype=RPS -ol C:¥PRINT¥file1
```

rcp

あらかじめ hosts ファイルにプリンターのホスト名を登録しておきます。

`c:> rcp [-b] ¥パス名¥ファイル名 [¥パス名¥ファイル名...] プリンターのホスト名：[オプション]`

・ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

・バイナリーファイルを印刷する場合は -b オプションを付けてください。

ホスト名が ricoh のプリンターに、C:¥PRINT ディレクトリにある、名前が file1 と file2 の PostScript ファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> rcp -b C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2 ricoh:filetype=RPS
```

補足

- hosts ファイルに本機のホスト名を登録する方法について詳しくは、「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

参照

- P.291 「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」

ftp

印刷するファイル数に応じて put または mput コマンドを使います。

♦ 印刷するファイルが 1 つの場合

`ftp> put ¥パス名¥ファイル名 [オプション]`

♦ 印刷するファイルが複数の場合

`ftp> mput ¥パス名¥ファイル名 [¥パス名¥ファイル名...]`

ftp を起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 本機の IP アドレス（または hosts ファイルに設定したプリンターのホスト名）を引数にして ftp コマンドを起動します。

`% ftp 本機のアドレス`

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

```
User:
Password:
```

ユーザー名とパスワードは管理者にお問い合わせください。

ユーザー認証が設定されているときは、ユーザー名にログインユーザー名を、パスワードにログインパスワードを入力します。

3 バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

4 印刷するファイルを指定します。

以下は C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 という名前の PostScript ファイルを印刷する例と、file1 と file2 を印刷する例です。

```
ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=RPS
ftp> mput  C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2
```

5 ftp を終了します。

```
ftp> bye
```

補足

- ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。
- mput コマンドではオプションを指定できません。
- pwd コマンドではオプションを指定できません。
- mput コマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。
- C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 という名前のファイルを PCL6 で印刷する例
  ```
  ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=R00
  ```
- C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 と file2 という名前のファイルを印刷する例
  ```
  ftp> mput C:¥PRINT¥file1 file2
  ```

sftp

sftp コマンドをご使用の場合は、クライアントソフトが必要です。
クライアントソフトは、ssh ver2 に準拠した物をご使用ください。

重要

- 全てのクライアントが利用できるわけではありません。

1 クライアントソフトを起動します。

[psftp>open “ ホスト名 ”] と表示されます。

2 ホスト名を入力し、[Enter] キーを押します。

[Login as :“ ユーザー名 ”] と表示されます。

3 ユーザー名を入力し、[Enter] キーを押します。

初回アクセス時は [Store key in cache? (y/n)] と表示されるので、鍵情報と鍵を保管する（y）かしないか（n）を選択し、[Enter] キーを押します。
“ ユーザー名 ” と “ ホスト名 ” は入力した名称で表示されます。

4 パスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

パスワードは入力しても表示されません。

補足

- 詳しい手順については、クライアントソフトのヘルプまたは取扱説明書をご覧ください。

10

Windows ターミナルサービス /Citrix Presentation Server(MetaFrame) を使用する場合

Windows ターミナルサービス /Citrix Presentation Server(MetaFrame) を使用する方法の説明です。

動作環境

使用可能な OS と MetaFrame との組み合わせは次のとおりです。

♦ Windows 2000 Server

- MetaFrame XP (SP1/SP2/FR1/FR1＋SP2/FR2/SP3/FR1＋SP2/FR2＋SP3/FR3)
- MetaFrame Presentation Server 3.0

♦ Windows Server 2003/2003 R2

- MetaFrame XP（FR3）
- MetaFrame Presentation Server 3.0

制限

動作が制限される環境についての説明です。

♦「Windows ターミナルサービス」動作時

Windows 2000 Serverファミリでターミナルサービスを実行している環境でRidoc IO Naviをインストールする場合は、必ずインストールモードでインストールを行ってください。

インストールモードでインストールを行うには、次の２通りの方法があります。

1) ［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］を使用して Ridoc IO Navi をインストールします。
2) MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
CHANGE USER /INSTALL
```

インストールモードを終了するには、MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
CHANGE USER /EXECUTE
```

補足

- 詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

♦ 印刷時

サイズの大きな画像や、フォントが大量に含まれたデータを印刷すると、画像や文字抜けが発生する場合があります。事前検証のうえ、運用してください。

10

♦「クライアントプリンタの自動作成機能」使用時

「クライアントプリンタの自動作成機能」とは、MetaFrame サーバーにログオンする時に、クライアント側で使用しているローカルプリンタの情報を基にして、MetaFrame サーバー側で、そのクライアント専用の論理プリンタが自動的に作成される機能です。事前検証のうえ、運用してください。

- 大容量の画像データを印刷したり、ISDN などの電話回線を利用した WAN 環境でお使いになる場合、事前検証のうえ、運用してください。
- MetaFrame XP 1.0 以降をご使用の場合は、「Citrix 管理コンソール」より、「クライアントプリンターで使用可能な帯域幅」をお使いの環境に合わせて設定して、使用してください。
- サーバー側で印刷エラーが発生し、印刷ジョブや「クライアントプリンタの自動作成機能」で作成されたプリンターが削除されない場合、次の対処方法を行ってください。
  - MetaFrame XP1.0 SP1/SP2/SP3/FR1

    レジストリにて「完了していない印刷ジョブを削除する」設定を実施します（詳細については MetaFrame の Readme を参照してください）。
  - MetaFrame XP1.0 FR2/FR3
  - MetaFrame Presentation Server 3.0

    Citrix 管理コンソールの「プリンタの管理」のプロパティにて「ログオフ時に保留中の印刷ジョブを削除する」設定を実施します。

♦「プリンタードライバーの複製機能」使用時

事前検証のうえ、運用してください。

正しく複製がされない場合は、各サーバーにプリンタードライバーをインストールして、運用してください。

♦ PCL6 ドライバーを使用される場合

ユニバーサルプリンタードライバー利用時（MetaFrame XP 1.0 FR1、FR2)、クライアント側のドライバーが PCL6 ドライバー（PCL6 ミニドライバー含む）の場合、用紙サイズいっぱいに描画されたデータが、一部切れて印刷されてしまう場合があります。この場合は、印刷領域を「拡張」もしくは「最大」に設定して、ご使用ください。

補足

- 制限事項の詳細については、リコーホームページを参照してください。

DHCP を使用する

本機を DHCP 環境で使用することができます。WINS サーバーが稼働している環境では、同時にプリンター名を WINS サーバーに登録することができます。

- 動作対象の DHCP サーバーは、Windows 2000 Server および UNIX に標準添付されている DHCP サーバーです。
- 本機が DHCP から取得した IP アドレスは、システム設定リストで確認できます。
- WINS サーバーを使用する場合は、「WINS サーバーを使用する」を参照して WINS サーバーを設定してください。
- WINS サーバーを使用することで、リモートネットワークのプリンターポートでホスト名を使用できます。
- WINS サーバーを使用しない場合は、毎回同じ IP アドレスが割り当てられるように、本機に割り当てる IP アドレスを DHCP サーバーで予約してください。
- 複数の DHCP サーバーが存在する場合は、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。
- ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用した場合、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。

参照

- P.133 「テスト印刷をする」
- P.298 「WINS サーバーを使用する場合」

AutoNet 機能を使用する

DHCP サーバーから IPv4 アドレスが割り当てられなかった場合、本機は、臨時に 169.254.xxx.xxx ではじまるネットワーク上で使用されていない IPv4 アドレスを自動選択して使用できます。

AutoNet 機能を使用するために、telnet で AutoNet の設定を「on」にしてください。

補足

- AutoNet 機能で自動選択された IPv4 アドレスは、DHCP サーバーが IP アドレスの割り当てを再開すると、DHCP サーバーから割り当てられた IPv4 アドレスを優先的に使用します。このとき、本機が再起動するため、一時的に印刷ができなくなります。
- 本機が使用している IPv4 アドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、「テスト印刷をする」を参照してください。
- AutoNet モードで動作中の場合、WINS サーバーへのプリンター名の登録は行われません。
- AutoNet 機能で起動している機器以外とは通信できません。ただし、Mac OS X 10.2.3 以降が稼働している Macintosh とは通信できます。

参照

- P.133 「テスト印刷をする」
- P.201 「autonet」

10

WINS サーバーを使用する場合

プリンターの起動時に、プリンターのプリンター名を WINS（Windows Internet Name Sarvice）サーバーに登録することができます。WINS サーバーにプリンター名を登録すると、DHCP 環境で使用している場合、Ridoc IO Navi のポート名にプリンターのプリンター名を使用して印刷できます。

ここでは、プリンターが WINS サーバーを使用できるようにする設定について説明します。

サポートする WINS サーバーは、Windows 2000 Server の WINS マネージャーです。

WINS サーバーの設定については、Windows のヘルプを参照してください。

WINSサーバーが応答しない場合、ブロードキャストによるプリンター名の登録が行われます。

登録できるプリンター名は、半角英数字で 15 バイト以内です。

Web ブラウザーを使用する方法

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。

IPv4 アドレスを入力する場合、各セグメントの先頭につく「0」は入力しないでください。例えば「192.168.001.010」の場合は、「192.168.1.10」と入力します。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

3 ［ログイン］をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードを入力するダイアログが表示されます。

4 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードについては管理者にお尋ねください。

5 メニューエリアの［設定］をクリックし、［ネットワーク］エリアの［IPv4］をクリックします。

6 ［Ethernet+IEEE802.11b］欄の［WINS］が「有効」になっていることを確認し、［プライマリ WINS サーバー］と［セカンダリ WINS サーバー］にそれぞれ WINS サーバーの IP アドレスを入力します。



7 [OK] をクリックします。

8 Web ブラウザーを終了します。

telnet を使用する方法

参照

・P.198 「telnet を使う」

ダイナミック DNS 機能を使用する

ダイナミック DNS とは、DNS サーバが管理しているレコード（A レコードおよび PTR レコード）を動的に更新（登録・削除）する機能です。本機が接続されているネットワーク環境に DNS サーバがあり、本機が DNS クライアントである場合、ダイナミック DNS 機能によって動的にレコードを更新することができます。

更新処理について

本機の IP アドレスが静的か DHCP から取得しているかによって、更新処理の動作が異なります。

ダイナミック DNS 機能を使用しない場合、本機の IP アドレスが変更されると、DNS サーバで管理しているレコードを手動で更新する必要があります。

本機でレコードの更新を実行する場合、DNS サーバの設定が次のどちらかになっている必要があります。

・セキュリティー設定がされていない

・セキュリティー設定で、更新を許可するクライアント（本機）を IP で指定している

♦ 静的 IP 設定の場合

IP アドレス、ホスト名が変更された場合、本機が A レコード、および PTR レコードを更新します。

また、A レコードを登録する際に、CNAME も登録します。登録できる CNAME は次のとおりです。

・イーサネット、IEEE802.11 の場合

RNPPRNXX（PRNXX は MAC アドレスの下位 3 バイトの 16 進数）

♦ DHCP 設定の場合

DHCP サーバーが本機の代理でレコードを更新します。次のどちらかになります。

・本機が DHCP サーバーから IP アドレスを取得する際、DHCP サーバーが A レコードと PTR レコードを更新

・本機が DHCP サーバーから IP アドレスを取得する際、本機が A レコードを更新し、DHCP サーバーが PTR レコードを更新

A レコードを登録する際に、CNAME も登録します。登録できる CNAME は次のとおりです。

・イーサネット、IEEE802.11 の場合

RNPPRNXX（PRNXX は MAC アドレスの下位 3 バイトの 16 進数）

補足

・メッセージ認証を用いた動的更新（TSIG、SIG(0)) はサポートしていません。

動作対象の DNS サーバー

♦ 静的 IP 設定の場合

- Windows 2000 Server に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

♦ DHCP 設定の場合で本機が A レコードを更新する場合

- Windows 2000 Server に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

♦ DHCP 設定の場合で、DHCP サーバーがレコードを更新する場合

- Windows 2000 Server に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

動作対象の DHCP サーバー

本機の代理で A レコード、および PTR レコードを更新することができる DHCP サーバーは次のとおりです。

- Windows 2000 Server（Service Pack 3 以降）に標準添付の Microsoft DHCP サーバー
- ISC DHCP 3.0 以降

ダイナミック DNS 機能の設定方法

telnet で dns コマンドを使用して設定します。

参照

- P.206 「dns」

使用上の注意

ネットワークインターフェースボードを使用する場合は、次の事項に注意してください。設定が必要な場合は、正しく設定してからお使いください。

ネットワークに ISDN 回線を接続している場合

リコー製のネットワークユーティリティーには周期的に装置と通信を行うものがあり、設定したアドレスの値によっては ISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。装置のネットワークアドレスを設定するとき、及びネットワークユーティリティーの通信先のアドレスを指定するときは、回線の接続が発生しない値に設定してください。

本機でできるセキュリティー対策

ここでは本機でできるセキュリティー強化について説明しています。
本章の設定を行うことが出来るのは管理者となります。

認証機能の利用とユーザー管理

重要

- 管理者認証、ユーザーコード認証以外の認証機能を使用するには、ハードディスクが必要です。

♦ **認証機能の設定**
本機の正しい管理者、また正しいユーザーであることを確認するために、ログインユーザー名とログインパスワードを使用した管理者認証、ユーザー認証を行います。認証を行うためには本体の初期設定で、認証機能を有効に設定する必要があります。

♦ **ログイン認証情報を設定する**
ユーザーは本機のアドレス帳に登録された個人情報によって管理されます。ユーザー認証を有効に設定することで、アドレス帳に登録されたユーザーのみを機器の利用者として設定することができます。

♦ **使用できる機能を設定する**
登録されたユーザーに対して、使用できる機能を設定します。この設定により、ユーザーの使用できる機能を制限することができます。

情報の漏洩を防ぐ

♦ **文書の複製を抑止する**
プリンター機能の不正コピー抑止機能を使用し、不正コピーを抑止するために文字列の地紋をつけて印刷できます。

♦ **文書の複製をガードする**
プリンター機能のコピーガード機能を使用し、不正コピーをガードするために地紋を背景全体につけて印刷できます。
不正コピーガード文書を複合機などで、コピー・ドキュメントボックスへの蓄積をしたときに文書をグレー地にする効果を得るためには、不正コピーガードモジュールが必要です。

♦ **文書を他人に見せないように印刷する**
プリンター機能の機密印刷機能を使用し、出力文書を機密文書として本機に蓄積してから印刷します。本機の操作パネルで印刷を指示し、印刷した文書をすぐに本人が回収するため、他人に見られることを防止することができます。

♦ 蓄積文書の覗き見を防止する

ドキュメントボックスに蓄積された文書やスキャナーで読みこんだ文書に対して、その文書を使用できるユーザーとアクセス権を設定することができます。アクセス権の設定されたユーザー以外の第三者による蓄積文書の印刷などの不正利用を防止することができます。

♦ 蓄積文書の持ち出しを防止する

ドキュメントボックスに蓄積された文書に対して、その文書を使用できるユーザーとアクセス権を設定することができます。アクセス権の設定されたユーザー以外の第三者による蓄積文書の送信やダウンロードなどの不正利用を防止することができます。

♦ アドレス帳の登録情報を保護する

アドレス帳のデータに対して、ユーザーのアクセス権を設定することができます。登録されたユーザー以外の第三者によるアドレス帳のデータの不正利用を防止することができます。

また、アドレス帳のデータを暗号化し、データの読み取りを防止することができます。

♦ ログ情報の管理

本機に記憶されたログを消去することでデータの漏洩を防止したり、ログデータを転送することで、不正読み取り履歴や読み取り者の確認ができます。

ログデータを転送するためにはログ収集サーバーが必要です。

♦ ハードディスクのデータを上書き消去する

本機を廃棄するときに、ハードディスクに蓄積されていたすべてのデータを上書き消去することや、一時的に保存していたデータを自動で上書き消去することで、データ漏洩を防止することができます。

ハードディスクのデータを上書き消去するためには、セキュリティーカードが必要です。

アクセスの制限と管理

♦ 蓄積データの変更、削除を防止する

ドキュメントボックスに蓄積された文書やスキャナーで読みこんだ蓄積文書に対して、その文書を使用できるユーザーとアクセス権を設定することができます。アクセス権の設定されたユーザーの中でも特定のユーザーに対して蓄積文書の変更や削除を許可するようにできます。

♦ 機器設定の変更を防止する

本機の各種機能の設定項目は、管理者の種類によって設定できる項目が異なります。また、管理者が設定すべき項目は、ユーザーでは変更できません。

管理者を登録して本機を運用します。

♦ 機能の使用を制限する

本機の各種機能に対してユーザーのアクセス権を設定し、第三者による不正操作の介入を防止することができます。

ネットワークのパラレルインターフェース設定強化

◆ 不正なアクセスを防止する

IP アドレスに制限をかけたり、ポートを無効に設定することによって、ネットワーク上での不正アクセスを防止し、アドレス帳や蓄積文書、初期設定のデータなどを保護することができます。

◆ パスワードを暗号化通信する

ログインパスワード、PDF 文書のグループパスワード、および IPP 認証のパスワードを暗号化通信し、パスワードを解析される脅威から保護することができます。

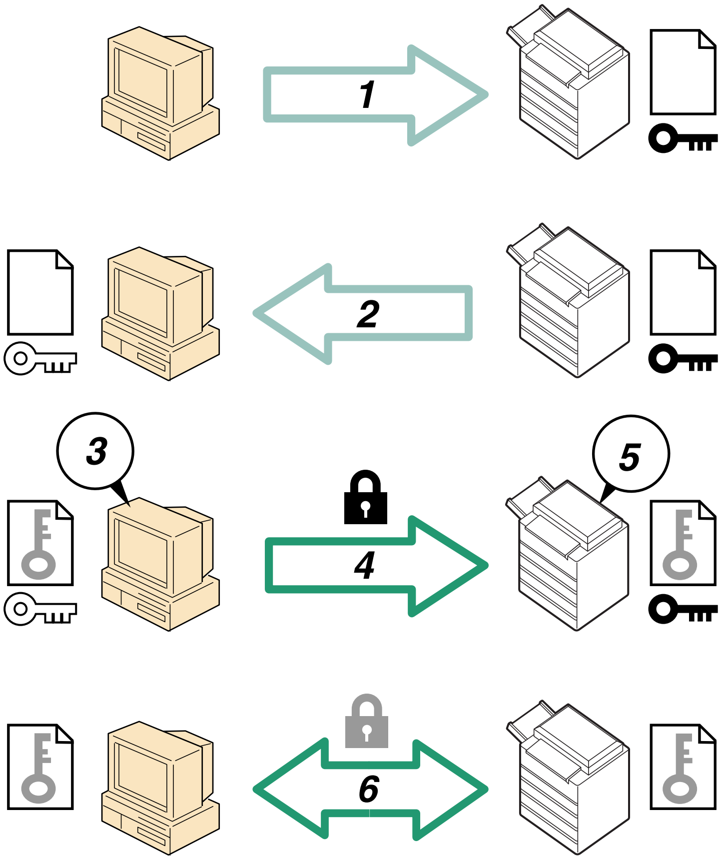
◆ 通信経路の保護と暗号化通信

Web Image Monitor や IPP で本機にアクセスするときは、SSL による暗号化通信を確立することができます。また Ridoc IO Admin などで本機にアクセスするときは、SNMPv3 や SSL による暗号化通信を確立することができます。

本機にサーバー証明書を導入し、通信経路の確立と通信データの暗号化を行い、盗聴やデータの内容の解析、改ざんを防止することができます。

SSL（暗号化通信）の概要

通信経路の保護と暗号化通信ができるように、サーバー証明書を作成、導入します。
サーバー証明書は、機器自身で作成、導入する自己証明書と、任意の認証局に証明書を申請し機器に導入する 2 つの運用形態があります。



1) ユーザーのパソコンから本機へアクセスするとき、SSL のサーバー証明書と公開鍵を要求します。
2) 本機からユーザーのパソコンへサーバー証明書と公開鍵が送られます。
3) PC で共通鍵を生成し、公開鍵を使用して暗号します。
4) 暗号化された共通鍵が本機に送られます。
5) 本機で秘密鍵を使用し、暗号化された共通鍵が復号化されます。
6) 共通鍵を使用してデータを暗号化し、相手側で復号する安全な通信を実現します。

拡張無線 LAN ボードを取り付けているとき

拡張無線 LAN ボードを使ってネットワークに接続しているときは、次のことに注意してください。

♦ ネットワークの電波状態が悪いとき

電波状態が悪いと、接続が途切れたり、接続できなくなったりします。本機の「電波状態」とアクセスポイントの電波状態を確認し、電波状態が悪いときは、次の点に注意して対処してください。

- 本機とアクセスポイントを近づける。
- アクセスポイントと本機の間の見通しをよくする。
- アクセスポイントや本機の近くから電子レンジなど電波の発する機器を遠ざける。

補足

- アクセスポイントの電波状態は、使用しているアクセスポイントの使用説明書を参照して確認してください。

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

expat について

本製品に搭載しているコントローラー等のソフトウェア（以下、ソフトウェア）には expat を下記の条件のもとで使用しています。

・expat を含むソフトウェアに関するサポートと保証等は株式会社リコーが行うものであり、expat の作者および著作権者には一切の責任および義務はありません。

補足

・expat に関する情報は次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。http://expat.sourceforge.net/

NetBSD について

1.Copyright Notice of NetBSD

For all users to use this product:

This product contains NetBSD operating system:

For the most part, the software constituting the NetBSD operating system is not in the public domain; its authors retain their copyright.

The following text shows the copyright notice used for many of the NetBSD source code. For exact copyright notice applicable for each of the files/binaries, the source code tree must be consulted.

A full source code can be found at http://www.netbsd.org/.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS"' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

2. Authors Name List

All product names mentioned herein are trademarks or registered trade-marks of their respective owners.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by the University of California,Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by the NetBSD Foundation.

This product includes software developed by The NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed for the NetBSD Project. See http://www.netbsd.org/ for information about NetBSD.

This product contains software developed by Ignatios Souvatzis for the NetBSD project.

This product contains software written by Ignatios Souvatzis and MichaelL. Hitch for the NetBSD project.

This product contains software written by Michael L. Hitch for the NetBSD project.

This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)

This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@mincom.oz.au)

This product includes software designed by William Allen Simpson.

This product includes software developed at Ludd, University of Lulea,Sweden and its contributors.

This product includes software developed at Ludd, University of Lulea.
This product includes software developed at the Information Technology Division, US Naval Research Laboratory.
This product includes software developed by Berkeley Software Design, Inc.
This product includes software developed by David Jones and Gordon Ross
This product includes software developed by Gordon W. Ross and Leo Weppelman.
This product includes software developed by Hellmuth Michaelis and Joerg Wunsch
This product includes software developed by Internet Research Institute, Inc.
This product includes software developed by Leo Weppelman and Waldi Ravens.
This product includes software developed by Mika Kortelainen
This product includes software developed by Aaron Brown and Harvard University.
This product includes software developed by Adam Ciarcinski for the NetBSD project.
This product includes software developed by Adam Glass and Charles M.Hannum.
This product includes software developed by Adam Glass.
This product includes software developed by Advanced Risc Machines Ltd.
This product includes software developed by Alex Zepeda, and Colin Wood for the NetBSD Projet.
This product includes software developed by Alex Zepeda.
This product includes software developed by Alistair G. Crooks.
This product includes software developed by Alistair G. Crooks. for the NetBSD project.
This product includes software developed by Allen Briggs
This product includes software developed by Amancio Hasty and Roger Hardiman
This product includes software developed by Berkeley Software Design, Inc.
This product includes software developed by Berkeley Software Design, Inc.
This product includes software developed by Bill Paul.
This product includes software developed by Bodo Moeller. (If available, substitute umlauted o for oe)
This product includes software developed by Boris Popov.
This product includes software developed by Brad Pepers
This product includes software developed by Bradley A. Grantham.
This product includes software developed by Brini.
This product includes software developed by Causality Limited.
This product includes software developed by Charles D. Cranor and Seth Widoff.
This product includes software developed by Charles D. Cranor and Washington University.
This product includes software developed by Charles D. Cranor, Washington University, and the University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by Charles D. Cranor, Washington University, the University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by Charles D. Cranor.
This product includes software developed by Charles Hannum.
This product includes software developed by Charles M. Hannum, by the University of Vermont and State Agricultural College and Garrett A.Wollman, by William F. Jolitz, and by the University of California,Berkeley, Lawrence Berkeley Laboratory, and its contributors.
This product includes software developed by Charles M. Hannum.
This product includes software developed by Christian E. Hopps, Ezra Story, Kari Mettinen, Markus Wild, Lutz Vieweg and Michael Teske.
This product includes software developed by Christian E. Hopps.
This product includes software developed by Christian Limpach

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.
This product includes software developed by Christos Zoulas.
This product includes software developed by Chuck Silvers.
This product includes software developed by Colin Wood for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Colin Wood.
This product includes software developed by Cybernet Corporation and Nan Yang Computer Services Limited
This product includes software developed by Daishi Kato
This product includes software developed by Dale Rahn.
This product includes software developed by Daniel Widenfalk and Michael L. Hitch.
This product includes software developed by Daniel Widenfalk for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Darrin B. Jewell
This product includes software developed by David Miller.
This product includes software developed by Dean Huxley.
This product includes software developed by Eduardo Horvath.
This product includes software developed by Eric S. Hvozda.
This product includes software developed by Eric S. Raymond
This product includes software developed by Eric Young (eay@@mincom.oz.au)
This product includes software developed by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
This product includes software developed by Eric Young (eay@mincom.oz.au)
This product includes software developed by Ezra Story and by Kari Mettinen.
This product includes software developed by Ezra Story, by Kari Mettinen and by Bernd Ernesti.
This product includes software developed by Ezra Story, by Kari Mettinen, Michael Teske and by Bernd Ernesti.
This product includes software developed by Ezra Story, by Kari Mettinen, and Michael Teske.
This product includes software developed by Ezra Story.
This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Gardner Buchanan.
This product includes software developed by Gary Thomas.
This product includes software developed by Gordon Ross
This product includes software developed by Gordon W. Ross
This product includes software developed by HAYAKAWA Koichi.
This product includes software developed by Harvard University and its contributors.
This product includes software developed by Harvard University.
This product includes software developed by Herb Peyerl.
This product includes software developed by Hubert Feyrer for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Iain Hibbert
This product includes software developed by Ian F. Darwin and others.
This product includes software developed by Ian W. Dall.
This product includes software developed by Ichiro FUKUHARA.
This product includes software developed by Ignatios Souvatzis for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Internet Initiative Japan Inc.
This product includes software developed by James R. Maynard III.
This product includes software developed by Jared D. McNeill.
This product includes software developed by Jason L. Wright

This product includes software developed by Jason R. Thorpe for And Communications, http://www.and.com/
This product includes software developed by Joachim Koenig-Baltes.
This product includes software developed by Jochen Pohl for The NetBSD Project.
This product includes software developed by Joerg Wunsch
This product includes software developed by John Birrell.
This product includes software developed by John P. Wittkoski.
This product includes software developed by John Polstra.
This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Jonathan Stone.
This product includes software developed by Jukka Marin.
This product includes software developed by Julian Highfield.
This product includes software developed by Kazuhisa Shimizu.
This product includes software developed by Kazuki Sakamoto.
This product includes software developed by Kenneth Stailey.
This product includes software developed by Kiyoshi Ikehara.
This product includes software developed by Klaus Burkert,by Bernd Ernesti, by Michael van Elst, and by the University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by LAN Media Corporation and its contributors.
This product includes software developed by Leo Weppelman for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Leo Weppelman.
This product includes software developed by Lloyd Parkes.
This product includes software developed by Luke Mewburn.
This product includes software developed by Lutz Vieweg.
This product includes software developed by MINOURA Makoto, Takuya Harakawa.
This product includes software developed by Manuel Bouyer.
This product includes software developed by Marc Horowitz.
This product includes software developed by Marcus Comstedt.
This product includes software developed by Mark Brinicombe for the NetBSD project.
This product includes software developed by Mark Brinicombe.
This product includes software developed by Mark Murray
This product includes software developed by Mark Tinguely and Jim Lowe
This product includes software developed by Markus Wild.
This product includes software developed by Martin Husemann and Wolfgang Solfrank.
This product includes software developed by Masanobu Saitoh.
This product includes software developed by Masaru Oki.
This product includes software developed by Mats O Jansson and Charles D.Cranor.
This product includes software developed by Mats O Jansson.
This product includes software developed by Matt DeBergalis
This product includes software developed by Matthew Fredette.
This product includes software developed by Matthias Pfaller.
This product includes software developed by Michael Graff for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Michael Graff.
This product includes software developed by Michael L. Hitch.

This product includes software developed by Michael Shalayeff.
This product includes software developed by Michael Smith.
This product includes software developed by Mike Glover and contributors.
This product includes software developed by Mike Pritchard.
This product includes software developed by Minoura Makoto.
This product includes software developed by Nan Yang Computer Services Limited.
This product includes software developed by Niels Provos.
This product includes software developed by Niklas Hallqvist, Brandon Creighton and Job de Haas.
This product includes software developed by Niklas Hallqvist.
This product includes software developed by Onno van der Linden.
This product includes software developed by Paul Kranenburg.
This product includes software developed by Paul Mackerras.
This product includes software developed by Per Fogelstrom
This product includes software developed by Peter Galbavy.
This product includes software developed by Phase One, Inc.
This product includes software developed by Philip A. Nelson.
This product includes software developed by Philip L. Budne.
This product includes software developed by RiscBSD.
This product includes software developed by Roar Thronaes.
This product includes software developed by Rodney W. Grimes.
This product includes software developed by Roger Hardiman
This product includes software developed by Roland C. Dowdeswell.
This product includes software developed by Rolf Grossmann.
This product includes software developed by Ross Harvey for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Ross Harvey.
This product includes software developed by Scott Bartram.
This product includes software developed by Scott Stevens.
This product includes software developed by Shingo WATANABE.
This product includes software developed by Softweyr LLC, the University of California, Berkeley, and its contributors.
This product includes software developed by Soren S. Jorvang.
This product includes software developed by Stephan Thesing.
This product includes software developed by Steve Woodford.
This product includes software developed by Takashi Hamada
This product includes software developed by Takumi Nakamura.
This product includes software developed by Tatoku Ogaito for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Terrence R. Lambert.
This product includes software developed by Tetsuya Isaki.
This product includes software developed by Thomas Gerner
This product includes software developed by Thomas Klausner for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Tobias Weingartner.
This product includes software developed by Todd C. Miller.
This product includes software developed by Tohru Nishimura and Reinoud Zandijk for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Tohru Nishimura for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Tohru Nishimura. for the NetBSD Project.

This product includes software developed by TooLs GmbH.
This product includes software developed by Toru Nishimura.
This product includes software developed by Trimble Navigation, Ltd.
This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.
This product includes software developed by Waldi Ravens.
This product includes software developed by Wasabi Systems for Zembu Labs, Inc. http://www.zembu.com/
This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.
This product includes software developed by Wolfgang Solfrank.
This product includes software developed by Yasushi Yamasaki
This product includes software developed by Zembu Labs, Inc.
This product includes software developed by the Alice Group.
This product includes software developed by the Center for Software Science at the University of Utah.
This product includes software developed by the Charles D. Cranor, Washington University, University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by the Computer Systems Engineering Group at Lawrence Berkeley Laboratory.
This product includes software developed by the David Muir Sharnoff.
This product includes software developed by the Harvard University and its contributors.
This product includes software developed by the Kungliga Tekniska Hogskolan and its contributors.
This product includes software developed by the Network Research Group at Lawrence Berkeley Laboratory.
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.OpenSSL.org/)
This product includes software developed by the PocketBSD project and its contributors.
This product includes software developed by the RiscBSD kernel team
This product includes software developed by the RiscBSD team.
This product includes software developed by the SMCC Technology Development Group at Sun Microsystems, Inc.
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors, as well as the Trustees of Columbia University.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.
This product includes software developed by the University of Illinois at Urbana and their contributors.
This product includes software developed by the University of Vermont and State Agricultural College and Garrett A. Wollman.
This product includes software developed by the University of Vermont and State Agricultural College and Garrett A. Wollman, by William F. Jolitz, and by the University of California, Berkeley, Lawrence Berkeley Laboratory, and its contributors.
This product includes software developed for the FreeBSD project
This product includes software developed for the NetBSD Project by Bernd Ernesti.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Christopher G. Demetriou.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Christos Zoulas
This product includes software developed for the NetBSD Project by Emmanuel Dreyfus.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden
This product includes software developed for the NetBSD Project by Ignatios Souvatzis.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.
This product includes software developed for the NetBSD Project by John M. Vinopal.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Matthias Drochner.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Michael L. Hitch.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Perry E. Metzger.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Scott Bartram and Frank van der Linden
This product includes software developed for the NetBSD Project by Allegro Networks, Inc., and Wasabi Systems, Inc.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Genetec Corporation.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Jonathan Stone.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Piermont Information Systems Inc.
This product includes software developed for the NetBSD Project by SUNET,Swedish University Computer Network.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Shigeyuki Fukushima.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.
This product includes software developed under OpenBSD by Per Fogelstrom Opsycon AB for RTMX Inc, North Carolina, USA.
This product includes software developed under OpenBSD by Per Fogelstrom.
This software is a component of "386BSD" developed by William F. Jolitz,TeleMuse.
This software was developed by Holger Veit and Brian Moore for use with "386BSD" and similar operating systems. "Similar operating systems" includes mainly non-profit oriented systems for research and education, including but not restricted to "NetBSD", "FreeBSD", "Mach" (by CMU).
This software includes software developed by the Computer Systems Laboratory at the University of Utah.
This product includes software developed by Computing Services at Carnegie Mellon University (http://www.cmu.edu/computing/).
This product includes software developed by Allen Briggs.
In the following statement, "This software" refers to the Mitsumi CD-ROM driver:
This software was developed by Holger Veit and Brian Moore for use with "386BSD" and similar operating systems. "Similar operating systems" includes mainly non-profit oriented systems for research and education, including but not restricted to "NetBSD", "FreeBSD", "Mach" (by CMU).
In the following statement, "This software" refers to the parallel port driver:
This software is a component of "386BSD" developed by William F. Jolitz, TeleMuse.

Netatalk(NetBSD)/Neta Talk 1.4b2+asun2.1.3 について

FreeBSD 4.6.2/netipx について

Sablotron

Sablotron (Version 0.82) Copyright (c) 2000 Ginger Alliance Ltd. All Rights Reserved.
a) The application software installed on this product includes the Sablotron software Version 0.82 (hereinafter, "Sablotron 0.82"), with modifications made by the product manufacturer. The original code of the Sablotron 0.82 is provided by Ginger Alliance Ltd., the initial developer, and the modified code of the Sablotron 0.82 has been derived from such original code provided by Ginger Alliance Ltd.
b) The product manufacturer provides warranty and support to the application software of this product including the Sablotron 0.82 as modified, and the product manufacturer makes Ginger Alliance Ltd., the initial developer of the Sablotron 0.82, free from these obligations.
c) The Sablotron 0.82 and the modifications thereof are made available under the terms of Mozilla Public License Version 1.1 (hereinafter, "MPL 1.1"), and the application software of this product constitutes the "Larger Work" as defined in MPL 1.1. The application software of this product except for the Sablotron 0.82 as modified is licensed by the product manufacturer under separate agreement(s).
d) The source code of the modified code of the Sablotron 0.82 is available at: http://support-download.com/services/device/sablot/notice082.html
e) The source code of the Sablotron software is available at: http://www.gingerall.com
f) MPL 1.1 is available at: http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html

JPEG LIBRARY について

The software installed on this product is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

SASL について

CMU libsasl
Tim Martin

Rob Earhart
Rob Siemborski

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3) The name "Carnegie Mellon University" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For permission or any other legal details, please contact.
   Office of Technology Transfer
   Carnegie Mellon University
   5000 Forbes Avenue
   Pittsburgh, PA 15213-3890
   (412) 268-4387, fax: (412) 268-7395
   tech-transfer@andrew.cmu.edu
4) Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by Computing Services at Carnegie Mellon University (http://www.cmu.edu/computing/)."

CARNEGIE MELLON UNIVERSITY DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CARNEGIE MELLON UNIVERSITY BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Samba（Ver 3.0.4）について

本製品に搭載している SMB 送信機能では samba ver 3.0.4 を使用しています。

参照

- 本製品に搭載している SMB 送信機能に関するソースコードは次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。http://support-download.com/services/scbs

RSA BSAFE®

- This product includes RSA BSAFE (c) cryptographic software from RSA Security Inc.
- RSA, BSAFE are either registered trademarks or trademarks of RSA Security Inc. in the United States and/or other countries.
- RSA Security Inc. All rights reserved.

Open SSL

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (c) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Open SSH

The licences which components of this software fall under are as follows. First, we will summarize and say that all components are under a BSD licence, or a licence more free than that.

OpenSSH contains no GPL code.

1)

Copyright (c) 1995 Tatu Ylonen < y lo@cs.hut.fi>, Espoo, Finland All rights reserved As far as I am concerned, the code I have written for this software can be used freely for any purpose. Any derived versions of this software must be clearly marked as such, and if the derived work is incompatible with the protocol description in the RFC file, it must be called by a name other than "ssh" or "Secure Shell".

[Tatu continues]

However, I am not implying to give any licenses to any patents or copyrights held by third parties, and the software includes parts that are not under my direct control. As far as I know, all included source code is used in accordance with the relevant license agreements and can be used freely for any purpose (the GNU license being the most restrictive); see below for details.

[However, none of that term is relevant at this point in time. All of these restrictively licenced software components which he talks about have been removed from OpenSSH, i.e.,

- RSA is no longer included, found in the OpenSSL library
- IDEA is no longer included, its use is deprecated
- DES is now external, in the OpenSSL library
- GMP is no longer used, and instead we call BN code from OpenSSL
- Zlib is now external, in a library
- The make-ssh-known-hosts script is no longer included
- TSS has been removed
- MD5 is now external, in the OpenSSL library
- RC4 support has been replaced with ARC4 support from OpenSSL
- Blowfish is now external, in the OpenSSL library

[The licence continues]

Note that any information and cryptographic algorithms used in this software are publicly available on the Internet and at any major bookstore, scientific library, and patent office worldwide. More information can be found e.g. at "http://www.cs.hut.fi/crypto".

The legal status of this program is some combination of all these permissions and restrictions. Use only at your own responsibility. You will be responsible for any legal consequences yourself; I am not making any claims whether possessing or using this is legal or not in your country, and I am not taking any responsibility on your behalf.

NO WARRANTY
BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

2)
The 32-bit CRC compensation attack detector in deattack.c was contributed by CORE SDI S.A. under a BSD-style license.

Cryptographic attack detector for ssh - source code
Copyright (c) 1998 CORE SDI S.A., Buenos Aires, Argentina.
All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this copyright notice is retained.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL CORE SDI S.A. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY OR CONSEQUENTIAL DAMAGES RESULTING FROM THE USE OR MISUSE OF THIS SOFTWARE.
Ariel Futoransky <futo@core-sdi.com>
<http://www.core-sdi.com>

3)
One component of the ssh source code is under a 3-clause BSD license, held by the University of California, since we pulled these parts from original Berkeley code.

4)
Remaining components of the software are provided under a standard 2-term BSD licence with the following names as copyright holders:

Markus Friedl
Theo de Raadt
Niels Provos
Dug Song
Kevin Steves
Daniel Kouril
Wesley Griffin
Per Allansson
Jason Downs
Solar Designer
Todd C. Miller

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

5)
Portable OpenSSH contains the following additional licenses:
c) Compatibility code (openbsd-compat)

Apart from the previously mentioned licenses, various pieces of code in the openbsd-compat/ subdirectory are licensed as follows:

Some code is licensed under a 3-term BSD license, to the following copyright holders:

Todd C. Miller
Theo de Raadt
Damien Miller
Eric P. Allman
The Regents of the University of California

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Open LDAP

The OpenLDAP Public License Version 2.8, 17 August 2003

Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions in source form must retain copyright statements and notices,

2. Redistributions in binary form must reproduce applicable copyright statements and notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution, and

3. Redistributions must contain a verbatim copy of this document.

The OpenLDAP Foundation may revise this license from time to time. Each revision is distinguished by a version number. You may use this Software under terms of this license revision or under the terms of any subsequent revision of the license.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION, ITS CONTRIBUTORS, OR THE AUTHOR(S) OR OWNER(S) OF THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
The names of the authors and copyright holders must not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealing in this Software without specific, written prior permission. Title to copyright in this Software shall at all times remain with copyright holders.

Heimdal

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Institute nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

IPS™ print language emulations

racoon

TrouSerS

THE ACCOMPANYING PROGRAM IS PROVIDED UNDER THE TERMS OF THIS COMMON PUBLIC LICENSE ("AGREEMENT"). ANY USE, REPRODUCTION OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM CONSTITUTES RECIPIENT'S ACCEPTANCE OF THIS AGREEMENT.

1. DEFINITIONS

"Contribution" means:

a) in the case of the initial Contributor, the initial code and documentation distributed under this Agreement, and

b) in the case of each subsequent Contributor:

i) changes to the Program, and

ii) additions to the Program;

where such changes and/or additions to the Program originate from and are distributed by that particular Contributor. A Contribution 'originates' from a Contributor if it was added to the Program by such Contributor itself or anyone acting on such Contributor's behalf. Contributions do not include additions to the Program which: (i) are separate modules of software distributed in conjunction with the Program under their own license agreement, and (ii) are not derivative works of the Program.

"Contributor" means any person or entity that distributes the Program.

"Licensed Patents " mean patent claims licensable by a Contributor which are necessarily infringed by the use or sale of its Contribution alone or when combined with the Program.

"Program" means the Contributions distributed in accordance with this Agreement.

"Recipient" means anyone who receives the Program under this Agreement, including all Contributors.

2. GRANT OF RIGHTS

a) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce, prepare derivative works of, publicly display, publicly perform, distribute and sublicense the Contribution of such Contributor, if any, and such derivative
works, in source code and object code form.

b) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under Licensed Patents to make, use, sell, offer to sell, import and otherwise transfer the Contribution of such Contributor, if any, in source code and object code form. This patent license shall apply to the combination of the Contribution and the Program if, at the time the Contribution is added by the Contributor, such addition of the Contribution causes such combination to be covered by the Licensed Patents. The patent license shall not apply to any other combinations which include the Contribution. No hardware per se is licensed hereunder.

c) Recipient understands that although each Contributor grants the licenses to its Contributions set forth herein, no assurances are provided by any Contributor that the Program does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Each Contributor disclaims any liability to Recipient for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, each Recipient hereby assumes sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow Recipient to distribute the Program, it is Recipient's responsibility to acquire that license before distributing the Program.

d) Each Contributor represents that to its knowledge it has sufficient copyright rights in its Contribution, if any, to grant the copyright license set forth in this Agreement.

3. REQUIREMENTS

A Contributor may choose to distribute the Program in object code form under its own license agreement, provided that:

a) it complies with the terms and conditions of this Agreement; and

b) its license agreement:

i) effectively disclaims on behalf of all Contributors all warranties and conditions, express and implied, including warranties or conditions of title and non-infringement, and implied warranties or conditions of merchantability and fitness for a particular purpose;

ii) effectively excludes on behalf of all Contributors all liability for damages, including direct, indirect, special, incidental and consequential damages, such as lost profits;

iii) states that any provisions which differ from this Agreement are offered by that Contributor alone and not by any other party; and

iv) states that source code for the Program is available from such Contributor, and informs licensees how to obtain it in a reasonable manner on or through a medium customarily used for software exchange.

When the Program is made available in source code form:

a) it must be made available under this Agreement; and

b) a copy of this Agreement must be included with each copy of the Program.

Contributors may not remove or alter any copyright notices contained within the Program.

Each Contributor must identify itself as the originator of its Contribution, if any, in a manner that reasonably allows subsequent Recipients to identify the originator of the Contribution.

4. COMMERCIAL DISTRIBUTION

Commercial distributors of software may accept certain responsibilities with respect to end users, business partners and the like. While this license is intended to facilitate the commercial use of the Program, the Contributor who includes the Program in a commercial product offering should do so in a manner which does not create potential liability for other Contributors. Therefore, if a Contributor includes the Program

in a commercial product offering, such Contributor ("Commercial Contributor") hereby agrees to defend and indemnify every other Contributor ("Indemnified Contributor") against any losses, damages and costs (collectively "Losses") arising from claims, lawsuits and other legal actions brought by a third party against the Indemnified Contributor to the extent caused by the acts or omissions of such Commercial Contributor in connection with its distribution of the Program in a commercial product offering. The obligations in this section do not apply to any claims or Losses relating to any actual or alleged intellectual property infringement. In order to qualify, an Indemnified Contributor must: a) promptly notify the Commercial Contributor in writing of such claim, and b) allow the Commercial Contributor to control, and cooperate with the Commercial Contributor in, the defense and any related settlement negotiations. The Indemnified Contributor may participate in any such claim at its own expense.

For example, a Contributor might include the Program in a commercial product offering, Product X. That Contributor is then a Commercial Contributor. If that Commercial Contributor then makes performance claims, or offers warranties related to Product X, those performance claims and warranties are such Commercial Contributor's responsibility alone. Under this section, the Commercial Contributor would have to defend claims against the other Contributors related to those performance claims and warranties, and if a court requires any other Contributor to pay any damages as a result, the Commercial Contributor must pay those damages.

5. NO WARRANTY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, THE PROGRAM IS PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OR CONDITIONS OF TITLE, NONINFRINGEMENT, MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Each Recipient is solely responsible for determining the appropriateness of using and distributing the Program and assumes all risks associated with its exercise of rights under this Agreement, including but not limited to the risks and costs of program errors, compliance with applicable laws, damage to or loss of data, programs or equipment, and unavailability or interruption of operations.

6. DISCLAIMER OF LIABILITY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, NEITHER RECIPIENT NOR ANY CONTRIBUTORS SHALL HAVE ANY LIABILITY FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING WITHOUT LIMITATION LOST PROFITS), HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM OR THE EXERCISE OF ANY RIGHTS GRANTED HEREUNDER, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

7. GENERAL

If any provision of this Agreement is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this Agreement, and without further action by the parties hereto, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable.

If Recipient institutes patent litigation against a Contributor with respect to a patent applicable to software (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit), then any patent licenses granted by that Contributor to such Recipient under this Agreement shall terminate as of the date such litigation is filed. In addition, if Recipient institutes patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Program itself (excluding combinations of the Program with other software or hardware) infringes such Recipient's patent(s), then such Recipient's rights granted under Section 2(b) shall terminate as of the date such litigation is filed.

All Recipient's rights under this Agreement shall terminate if it fails to comply with any of the material terms or conditions of this Agreement and does not cure such failure in a reasonable period of time after becoming aware of such noncompliance. If all Recipient's rights under this Agreement terminate, Recipient agrees to cease use and distribution of the Program as soon as reasonably practicable. However, Recipient's obligations under this Agreement and any licenses granted by Recipient relating to the Program shall continue and survive.

Everyone is permitted to copy and distribute copies of this Agreement, but in order to avoid inconsistency the Agreement is copyrighted and may only be modified in the following manner. The Agreement Steward reserves the right to publish new versions (including revisions) of this Agreement from time to time. No one other than the Agreement Steward has the right to modify this Agreement. IBM is the initial Agreement Steward. IBM may assign the responsibility to serve as the Agreement Steward to a suitable separate entity.

Each new version of the Agreement will be given a distinguishing version number. The Program (including Contributions) may always be distributed subject to the version of the Agreement under which it was received. In addition, after a new version of the Agreement is published, Contributor may elect to distribute the Program (including its Contributions) under the new version. Except as expressly stated in Sections 2 (a) and 2(b) above, Recipient receives no rights or licenses to the intellectual property of any Contributor under this Agreement, whether expressly, by implication, estoppel or otherwise. All rights in the Program not expressly granted under this Agreement are reserved.

This Agreement is governed by the laws of the State of New York and the intellectual property laws of the United States of America. No party to this Agreement will bring a legal action under this Agreement more than one year after the cause of action arose. Each party waives its rights to a jury trial in any resulting litigation.

補足

- 本製品に搭載している TrouSerS(Version 0.27) に関するソースコードは、次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。http://www.ricoh.com/support/trousers/index.html
- TrouSerS は sourceforge の CVS でバージョン管理されています。ソースコードの入手方法については次の URL が示す WWW サイトでご確認ください。http://sourceforge.net/cvs/?group_id=126012